

服薬障害要因スクリーニングシート Ver4

(西暦) 年 月 日

患者ID		年齢	歳	該当するものにレ を付けてください	☐ 心不全 ☐ 慢性呼吸器疾患 ☐ 糖尿病 ☐ CKD ☐ 誤嚥性肺炎 ☐ 脳梗塞・脳出血 ☐ パーキンソン病 ☐ その他 ()
患者名		性別	男 ・ 女		
特記事項					

1. 服薬障害要因の評価

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない
① 薬を服用する必要性や重要性の理解が難しい	5	4	3	2	1
② 薬の服用を続けることに不安を感じる	5	4	3	2	1
③ 副作用に抵抗がある	5	4	3	2	1
④ 薬の服用が面倒だと感じる	5	4	3	2	1
⑤ 服用している薬が多いと感じる	5	4	3	2	1
⑥ 薬の形状や味、においに抵抗がある	5	4	3	2	1
⑦ 服薬回数や服用タイミングに抵抗がある	5	4	3	2	1
⑧ インスリンや吸入など服用手技が難しい薬がある	5	4	3	2	1
⑨ 薬代が高いと感じる	5	4	3	2	1

服薬障害要因 スコア合計	点
-----------------	---

2. 服用薬剤の剤形評価 (PILL-5 アセスメント)

質問	なし	ほとんどなし	時々あった	頻繁にあった	毎回あった
錠剤やカプセル剤が喉につかえる	0	1	2	3	4
錠剤やカプセル剤が胸のあたりにつかえる	0	1	2	3	4
錠剤やカプセル剤を飲むことに怖さを感じる	0	1	2	3	4
錠剤やカプセル剤を飲むのが難しく必要な薬の全てを飲みきることができない	0	1	2	3	4
粉碎したり、包んだりなど何かしら調整しないと錠剤を飲むことができない。	0	1	2	3	4

PILL-5スコア合計	点
-------------	---

判定基準	判定結果	対処方法	該当に○
0～6未満	正常	錠剤嚥下障害はほとんどないため、薬の剤形変更の必要性なし	
6～12未満	軽度から中等度の 錠剤嚥下障害	軽度から中等度の錠剤嚥下障害が考えられる。 →錠剤嚥下補助食品の使用が推奨される。	
12以上	中等度から重度の 錠剤嚥下障害	中等度から重度の錠剤嚥下障害が考えられる。 →薬の剤形変更が推奨される。	